

プログラム 11月15日(金)

【第1会場】(ボールルーム・ノース (B1F))

8:00~8:40 モーニングセミナー 1

司 会：猿田 雅之(東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科)

理想的なクローン病診療とは何か、スキリージとともに考える

大森 鉄平(杏林大学医学部附属杉並病院 消化器内科)

共催：アッヴィ合同会社

8:50~8:55 開会の挨拶

会 長：金井 隆典(慶應義塾大学医学部 内科学(消化器))

8:55~9:00 理事長挨拶

理事長：仲瀬 裕志(札幌医科大学医学部 消化器内科学講座)

9:00~10:30 シンポジウム 1：炎症性腸疾患の病態解明・新規治療への展開

司 会：高木 智久(京都府立医科大学 消化器内科)

星 奈美子(神戸大学大学院医学研究科 バイオリソース・ヘルスケア総合解析科学分野)

塩川 雅広(京都大学大学院医学研究科 消化器内科学講座)

SY1-1 ベーチェット病における腸管病変発症と併用薬の関連

村上 恵太(東京大学医学部附属病院)

SY1-2 炎症性腸疾患に合併する精神疾患の種類と頻度、病態との関連に関する検討

三室 純生(横浜市立大学 医学部医学科)

SY1-3 メタボロームワイドメンデルランダム化が示すコーヒー酸の潰瘍性大腸炎発症予防効果について

内藤 健夫(東北大学病院)

SY1-4 潰瘍性大腸炎に対する抗菌薬併用腸内細菌叢移植療法の最適化に向けた治療効果の関連因子の検討

高馬 将郎(順天堂大学医学部附属順天堂医院 消化器内科学講座)

SY1-5 潰瘍性大腸炎における抗インテグリン $\alpha v \beta 6$ 自己抗体

栗田 威(京都大学大学院医学研究科 消化器内科学講座)

SY1-6 潰瘍性大腸炎におけるパネート細胞化生の役割

武藤 智弘(東京医科歯科大学 消化器病態学)

SY1-7 粘膜Bestrophin2発現からみた潰瘍性大腸炎の再燃病態

内山 和彦（京都府立医科大学）

SY1-8 迷走神経肝臓枝電気刺激による腸炎抑制機構

須永 将梧（慶應義塾大学病院 内科学（消化器））

SY1-9 蛍光色素変換モデルを用いた腸炎惹起性メモリーT細胞traffickingの定量化と制御因子の解明

柴山 奈々（東京医科歯科大学）

SY1-10 マクロファージの極性誘導におけるKLF4の機能からみた腸管線維化応答メカニズム

片野 敬仁（医療法人梶の木会 梶の木内科医院 / 名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学）

10：40～12：10 シンポジウム2：リアルワールドバイオ/JAK（長期成績・副作用）

司 会：安藤 朗（滋賀医科大学 内科学講座）

角田 洋一（東北大学大学院医学系研究科 消化器病態学分野）

梁井 俊一（岩手医科大学 内科学講座 消化器内科分野）

SY2-1 生物学的製剤/低分子化合物の短期間スイッチが次治療の安全性と有効性に与える影響の検討

澤 宏樹（大阪大学医学部附属病院）

SY2-2 本邦レセプトデータを用いたクローン病新規発症例に対する分子標的薬による診療実態の発症年齢別解析

諸井林太郎（東北大学病院）

SY2-3 クローン病治療におけるウステキスマブの長期治療成績

伊藤 貴博（札幌東徳洲会病院 IBD センター）

SY2-4 ウステキスマブとリサンキズマブのクローン病に対する有効性及び安全性の検討

森川 亮（東京医科歯科大学）

SY2-5 潰瘍性大腸炎における second advanced therapy の有用性

伊藤 友佳（関西医科大学）

SY2-6 分子標的薬投与下の潰瘍性大腸炎患者における粘膜治癒を示すLRGに関する臨床プロフィール

松本 吏弘（自治医科大学附属さいたま医療センター）

SY2-7 実臨床におけるゴリムマブの短期及び長期有効性の検討

吉岡慎一郎（久留米大学医学部内科学講座 消化器内科部門 / 久留米大学病院 炎症性腸疾患センター）



SY2-8 潰瘍性大腸炎に対する Vedolizumab の長期有効性の検討

伊藤顕太郎（順天堂大学医学部附属順天堂医院）

SY2-9 潰瘍性大腸炎におけるベドリズマブとウステキヌマブの長期治療成績

村上 瑛基（京都府立医科大学）

SY2-10 潰瘍性大腸炎におけるヤヌスキナーゼ阻害薬3剤の有効性と安全性に関する傾向スコア解析

秋山慎太郎（筑波大学医学医療系）

SY2-11 潰瘍性大腸炎に対する JAK 阻害剤 3 剤の有用性と安全性の検討～Phoenix cohort のデータから～

坂谷 慧（旭川医科大学 内科学講座 消化器内科学分野）

12：20～13：10 ランチョンセミナー 1

司 会：中村 志郎（大阪医科薬科大学 第二内科）

軽症～重症・難治 UC の治療戦略 Up To Date

中村 正直（名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部）

共催：持田製薬株式会社

13：20～14：00 会長セッション

司 会：金井隆典（慶應義塾大学医学部 内科（消化器））

サイトカインのシグナル制御と免疫寛容

吉村 昭彦（東京理科大学生命医科学研究所 分子病態学部門）

14：10～14：50 アフタヌーンセミナー 1：潰瘍性大腸炎における Unmet Medical Needs

司 会：久松 理一（杏林大学医学部 消化器内科学）

UC 患者さんの困りごと

平岡佐規子（岡山大学病院 炎症性腸疾患センター）

UC 治療の困りごと

江崎 幹宏（佐賀大学医学部 消化器内科）

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社 メディカル部門

15：00～16：30 ワークショップ2：拳児希望と父親・母親になるIBD患者さんへの治療の最適化—各施設での経験例と取り組みから学ぶ

司 会：風間 友江（札幌医科大学医学部 消化器内科学講座）

酒匂美奈子（JCHO東京山手メディカルセンター 炎症性腸疾患内科）

福生 有華（順天堂大学医学部附属練馬病院 消化器内科）

WS2-1 男性IBD患者は拳児希望についてどう感じているか～当院における女性患者との比較～

井川 翔子（岡山大学病院 消化器内科）

WS2-2 当院におけるプレコンセプションケアセンターの立ち上げ

林 智之（金沢大学附属病院）

WS2-3 JAK阻害薬で治療中に妊娠した潰瘍性大腸炎の症例—当科の妊娠・出産に関する患者への取り組みも含めて

田川 慧（埼玉医科大学総合医療センター 炎症性腸疾患センター / 埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科）

WS2-4 トファシチニブ投与中の拳児希望潰瘍性大腸炎症例におけるウステキヌマブへのbio switchについて

増田 勉（社会医療法人健生会 生駒胃腸科肛門科診療所 / 健生会土庫病院奈良大腸肛門病センター）

WS2-5 アザチオプリン継続下の母親より産まれた新生児に一過性のB細胞数減少を来した1例

有吉 美紗（広島大学病院 消化器内科）

WS2-6 第1子と第2子で大きく妊娠分娩経過が異なったCDの2症例

手塚 真紀（東京山手メディカルセンター）

WS2-7 当院における炎症性腸疾患患者の出産例の検討

大久保 亮（東京山手メディカルセンター 炎症性腸疾患センター）

WS2-8 当院におけるIBD合併妊娠症例の検討

大野 将司（滋賀医科大学）

16：40～17：30 イブニングセミナー1

司 会：仲瀬 裕志（札幌医科大学医学部 消化器内科学講座）

「クローン病の治療戦略」—肛門病変に対するエビデンスを中心に—

江崎 幹宏（佐賀大学医学部 内科学講座 消化器内科）

共催：田辺三菱製薬株式会社

【第2会場】（ボールルーム・サウス（B1F））

8：00～8：40 モーニングセミナー 2

司 会：松岡 克善（東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科）

潰瘍性大腸炎治療におけるオンボーのポジショニング ～実臨床経験を踏まえて～
松田耕一郎（富山県立中央病院 消化器内科）

共催：持田製薬株式会社

9：00～10：30 エキスパートと学ぶ若手のための症例検討

司 会：細見 周平（大阪公立大学大学院医学研究科 消化器内科学）
志賀 永嗣（東北大学病院 消化器内科）

パネリスト1：伊藤 貴博（札幌東徳洲会病院 IBD センター）
櫻井 俊之（東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科）
品川 貴秀（東京大学 腫瘍外科）

パネリスト2：大森 鉄平（杏林大学医学部附属杉並病院 消化器内科）
高林 馨（慶應義塾大学医学部 内視鏡センター）
渡谷 祐介（広島大学大学院医系科学研究科 外科学）

CS-1 妊娠を契機に再燃した壊疽性膿皮症合併の潰瘍性大腸炎の1例
横山 陽子（兵庫医科大学医学部 消化器内科学講座）

CS-2 重症潰瘍性大腸炎の内科的・外科的マネジメント
辰巳 健志（横浜市立市民病院 炎症性腸疾患科）

10：40～12：10 ワークショップ1：クローン病の肛門病変（外科・内科セッション）

司 会：小金井一隆（横浜市立市民病院 炎症性腸疾患科）
高橋 賢一（東北労災病院 炎症性疾患センター）
久松 理一（杏林大学医学部 消化器内科学）

基調講演 クローン病肛門病変治療の現状と課題
水島 恒和（獨協医科大学 下部消化管外科 / 大阪大学 消化器外科）

WS1-1 我が国の診断基準における肛門病変で初発した症例のクローン病診断
三枝 直人（特定医療法人衆済会 増子記念病院 / 三枝クリニック）

WS1-2 クローン病の肛門病変に対する早期外科治療の有効性
酒匂美奈子（JCHO東京山手メディカルセンター 炎症性腸疾患内科）

WS1-3 Crohn病に合併した痔瘻に対する seton 法の長期成績
中尾 詠一（横浜市立市民病院 炎症性腸疾患科）

WS1-4 クロウン病に合併する複雑瘻孔に対するダルバドストロセルの経験

堀尾 勇規（兵庫医科大学病院）

WS1-5 クロウン病の肛門部瘻孔に対するダルバドストロセルの治療成績および瘻孔閉鎖に関連する因子についての検討

近藤 哲（医療法人愛知会 家田病院）

WS1-6 クロウン病の痔瘻に対するQoL評価尺度CAF-QoL日本語版の開発：信頼性及び妥当性の検討

松岡 克善（東邦大学医療センター佐倉病院）

12：20～13：10 ランチョンセミナー2：Patient Journeyから考えるクローン病 Total Care

司 会：松本 主之（岩手医科大学 内科学講座消化器内科分野）

短腸症候群患者へのレバスティブの長期投薬意義～患者さん・ご家族の日常生活の変化～

酒匂美奈子（JCHO 東京山手メディカルセンター 炎症性腸疾患内科）

短腸症候群を避けるためのクローン病治療戦略

新崎信一郎（兵庫医科大学医学部 消化器内科学講座）

共催：武田薬品工業株式会社

14：10～14：50 アフタヌーンセミナー2

司 会：渡辺 憲治（富山大学 炎症性腸疾患内科）

IBD患者の帯状疱疹と予防の重要性

今福 信一（福岡大学医学部 皮膚科学教室）

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

15：00～16：30 JSIBD-KASID Joint Symposium

司 会：Keisuke Hata (Nihonbashi Muromachi Mitsui Tower Midtown Clinic)

Won Moon (Kosin University College of Medicine, Busan, Korea)

Ami Kawamoto (Institute of Science Tokyo)

JK-1 Real-world efficacy and safety of advanced therapies in patients with acute severe ulcerative colitis

Makoto Naganuma (Department of Gastroenterology and Hepatology, Kansai Medical University)

JK-2 Optimizing rescue therapy in acute severe ulcerative colitis: Right time, right patient

Soo-Young Na (Internal Medicine, The Catholic University of Korea)

JK-3 Colorectal cancer in Crohn's disease; from a surgeon's perspective

Jong Lyul Lee (Division of Colorectal Surgery, Department of Surgery, Asan Medical Center and University of Ulsan College of Medicine)

JK-4 Crohn's disease-associated anorectal cancer has a poor prognosis with high local recurrence

Takayuki Ogino (Osaka University, Department of Gastroenterological Surgery, Osaka, Japan.)

16 : 40～17 : 30 イブニングセミナー 2

司 会：新崎信一郎（兵庫医科大学医学部 消化器内科学講座）

Strategies to achieve IBD Mucosal healing in Korea

Cheon Jae Hee (Yonsei University College of Medicine, Seoul, Korea)

共催：セルトリオン・ヘルスケア・ジャパン株式会社

【第3会場】(アイリス (B1F))

8:00~8:40 モーニングセミナー3：潰瘍性大腸炎非難治例の治療戦略

司 会：渡辺 憲治（富山大学附属病院 炎症性腸疾患内科）

経口 α 4 インテグリン阻害剤カロテグラストメチルの最適な治療ポジショニング

中村 志郎（大阪医科大学 第二内科）

共催：キッセイ薬品工業株式会社／E A ファーマ株式会社

9:00~9:25 一般演題1（口演）

座 長：本澤 有介（関西医科大学 内科学第三講座）

上野 伸展（旭川医科大学病院 総合診療部）

O1-1 潰瘍性大腸炎における Upadacitinib の短期～長期有効性の検討

西川 貴広（社会医療法人宏潤会大同病院 消化器内科）

O1-2 当院における潰瘍性大腸炎に対する JAK 阻害薬3剤の使用成績

久能 宣昭（福岡大学病院）

O1-3 当院における潰瘍性大腸炎に対する分子標的薬使用の現状

野村 朝子（北海道大学病院）

O1-4 リアルワールドデータから見た JAK 阻害薬3剤による UC 治療の現状

糸井 祐貴（群馬大学大学院医学系研究科 消化器・肝臓内科学）

O1-5 潰瘍性大腸炎における JAK 阻害薬の効果と炎症性マーカー推移の検討

山田 吾子（岩手医科大学 内科学講座消化器内科分野）

9:30~10:00 一般演題2（口演）

座 長：桂田 武彦（北海道大学病院 消化器内科）

藤井 俊光（東京科学大学 消化器内科）

O2-1 潰瘍性大腸炎に対する JAK 阻害薬の有用性と安全性の検討

今井 隆行（滋賀医科大学）

O2-2 潰瘍性大腸炎に対するトファシチニブとフィルゴチニブによる寛解維持療法の比較検討

八木 聡一（兵庫医科大学医学部 消化器内科学講座）

O2-3 ウパダシチニブの短期安全性の検討

平山 敦大（信州大学医学部附属病院）

O2-4 当院における潰瘍性大腸炎に対するフィルゴチニブの長期有効性の検討

石野 博崇（順天堂大学医学部附属順天堂医院）

O2-5 潰瘍性大腸炎患者を対象としたトファシチニブ特定使用成績調査（全例調査）最終報告
松岡 克善（東邦大学医療センター佐倉病院）

O2-6 潰瘍性大腸炎を対象としたトファシチニブ特定使用成績調査における生物学的製剤使用歴別事後解析結果
松岡 克善（東邦大学医療センター佐倉病院）

10：05～10：30 一般演題3（口演）

座 長：沖 裕昌（高知大学医学部附属病院 消化器内科）
青木 康浩（独立行政法人国立病院機構東京医療センター 消化器内科）

O3-1 当院における潰瘍性大腸炎に対するJAK阻害薬の有効性に関する検討
洪 伸有基（広島大学病院 消化器内科）

O3-2 難治性潰瘍性大腸炎に対する経口JAK阻害剤トファシチニブの長期有効性と安全性
米田 頼晃（近畿大学医学部）

O3-3 難治性潰瘍性大腸炎に対するJAK阻害剤の治療成績～JAK switchの成績も含めて～
下立 雄一（倉敷中央病院 IBD センター / 消化器内科）

O3-4 当院における難治性潰瘍性大腸炎(UC)に対するJAK阻害薬(JAKi)の有効性と安全性
原 あずさ（大阪医科薬科大学 第二内科 / 葛城病院）

O3-5 高齢の潰瘍性大腸炎患者におけるvedolizumabの有効性と安全性
久松 理一（杏林大学医学部 消化器内科学）

10：40～11：05 一般演題4（口演）

座 長：渡辺 憲治（富山大学 炎症性腸疾患内科）
下平 陽介（秋田大学大学院医学系研究科 消化器内科学・神経内科学講座）

O4-1 当院における潰瘍性大腸炎のFilgotinibの長期成績-Geboes scoreを中心とした評価-
白水 良征（大腸肛門病センター 高野会 くるめ病院）

O4-2 高齢発症潰瘍性大腸炎患者の臨床的特徴に関する検討
増田 直也（岐阜大学医学部附属病院 第一内科）

O4-3 入院加療した中高年潰瘍性大腸炎における臨床的特徴と治療方針に与える影響の検討
石田 潤（聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 消化器内科）

O4-4 日本人潰瘍性大腸炎患者のABO血液型と臨床的特徴
八木 専（済生会今治病院）

O4-5 便潜血陽性を契機に行った内視鏡検査にて潰瘍性大腸炎が疑われた症例の予後に関する検討
池田 有希（倉敷中央病院）

11：10～11：35 一般演題5（口演）

座 長：藤谷 幹浩（旭川医科大学 内科学講座 消化器内科学分野）
三好 潤（杏林大学医学部 消化器内科学）

O5-1 血清および便中バイオマーカーの炎症性腸疾患管理指標としての有用性の検討

竹内 健（辻中病院柏の葉 / 消化器内科 / IBD センター）

O5-2 リアルワールドにおける潰瘍性大腸炎患者に対するベドリズマブ治療のバイオマーカーおよび症状スコアの評価

佐藤 将嗣（辻仲病院柏の葉 診療技術部薬剤科）

O5-3 ベドリズマブ治療した潰瘍性大腸炎におけるトランスクリプトーム解析と粘膜治癒の機械学習による予測

安藤勝祥（旭川医科大学 内科学講座消化器内科学分野）

O5-4 当院における潰瘍性大腸炎患者に対するLRGと内視鏡検査所見,病理学的所見の関係

河野 匡志（近畿大学病院）

O5-5 ラマン分光技術の潰瘍性大腸炎内視鏡診療への応用の検討

澤田つな騎（名古屋大学医学部附属病院）

11：40～12：00 一般演題6（口演）

座 長：土屋輝一郎（筑波大学 医学医療系 消化器内科）
川島 一公（福島県立医科大学 消化器内科学講座）

O6-1 IBD診療においてIBDセンター設立が及ぼす影響

松田 圭二（同愛記念病院）

O6-2 潰瘍性大腸炎患者におけるセルフマネジメントツールとしての免疫学的便潜血検査

平岡佐規子（岡山大学病院）

O6-3 潰瘍性大腸炎患者における栄養に関するアンケート調査

福田 恭子（京都第二赤十字病院 医療技術部 栄養課）

O6-4 潰瘍性大腸炎の病変範囲の進展と予後に関する検討

阿部 哲之（北播磨総合医療センター）

O6-5 炎症性腸疾患におけるShared Decision MakingのためのWEBアプリケーションの提案

測上 綾子（日本医科大学武蔵小杉病院）

12：20～13：10 ランチョンセミナー3

司 会：竹内 健（辻中病院柏の葉 消化器内科・IBDセンター）

小児IBD診療のリアルワールド

工藤 孝広（順天堂大学医学部 小児科学講座）

共催：栄研化学株式会社

14：10～14：50 アフタヌーンセミナー3

司 会：石原 俊治（島根大学医学部 内科学講座（内科学第二））

Combination Strategyに関する最近のGMAの知見

櫻庭 裕丈（弘前大学大学院医学研究科 消化器血液免疫内科学講座）

共催：株式会社 J I M R O

15：00～15：30 一般演題7（口演）

座 長：加藤 順（千葉大学大学院医学研究院 消化器内科）

細見 周平（大阪公立大学大学院医学研究科 消化器内科学）

07-1 潰瘍性大腸炎に対するカロテグラストメチルの治療効果予測における便中カルプロテクチンの有用性

古谷 誠（辻仲病院柏の葉 消化器内科 / 辻仲病院柏の葉 IBD センター）

07-2 潰瘍性大腸炎に対するカロテグラストメチルの有効性—当院におけるリアル・ワールド・データ

秋田 義博（東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科）

07-3 当科における潰瘍性大腸炎に対するカロテグラストメチルの治療成績

遠藤 克哉（東北医科薬科大学 消化器内科）

07-4 Anchored Bucher法を用いたオザニモドとカロテグラストメチルの有効性と安全性の間接比較

中村 志郎（大阪医科薬科大学）

07-5 日本人潰瘍性大腸炎患者を対象としたozanimod投与による12週間での炎症性バイオマーカーの改善

仲瀬 裕志（札幌医科大学医学部 消化器内科学講座）

07-6 カロテグラストの潰瘍性大腸炎に対する短期中期有効性とbiologicsとのdual therapy

藤井 俊光（東京医科歯科大学）

15：35～16：00 一般演題8（口演）

座 長：本谷 聡（札幌厚生病院 消化器内科（IBDセンター））

下立 雄一（倉敷中央病院 消化器内科/IBDセンター）

- O8-1 ベドリズマブによるクローン病の寛解導入療法において肛門病変が治療効果に与える影響
太田佳奈美（山口赤十字病院 消化器内科）
- O8-2 潰瘍性大腸炎における Vedolizumab 治療成績の検討
中野 省吾（日本赤十字社 和歌山医療センター）
- O8-3 当院における Vedolizumab を使用した潰瘍性大腸炎41例の臨床的検討
稲掛 優介（刈谷豊田総合病院）
- O8-4 当科におけるベドリズマブの長期成績の検討
岩佐 陽介（奈良県立医科大学 消化器・総合外科 / 奈良県立医科大学附属病院 中央内視鏡部）
- O8-5 ベドリズマブの効果予測に関与する評価指標の検討
内藤 達志（福井大学医学系部門内科学(2)分野）

16:05~16:35 一般演題9（口演）

- 座 長：山村 健史（名古屋大学医学部附属病院 消化器内科）
小島健太郎（岐阜大学医学部 第一内科）
- O9-1 ミリキズマブ導入投与を延長した活動性潰瘍性大腸炎患者（日本人を含む）での2年継続投与の有効性・安全性
小林 拓（北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター）
- O9-2 当院における潰瘍性大腸炎に対する Mirikizumab の治療成績
松田耕一郎（富山県立中央病院）
- O9-3 ミリキズマブにより治療された潰瘍性大腸炎における消化管超音波検査による短期治療効果判定
杉山 浩平（札幌 IBD クリニック / 札幌中央病院 消化器内科・内視鏡内科）
- O9-4 中等症から重症の潰瘍性大腸炎患者におけるリサンキズマブによる早期の症状改善：第3相導入試験の事後解析
竹内 健（辻仲病院柏の葉 消化器内科・IBD センター）
- O9-5 グセルクマブ導入後24週時に臨床的改善を示した潰瘍性大腸炎患者に対する寛解維持療法の有効性と安全性
猿田 雅之（東京慈恵会医科大学 内科学講座消化器・肝臓内科）
- O9-6 中等症から重症の活動期潰瘍性大腸炎患者に対するグセルクマブ有効性と安全性:QUASAR 寛解維持試験
久松 理一（杏林大学医学部 消化器内科学）

【第4会場】（カメラア（B1F））

9：00～9：25 一般演題21（口演）

座 長：穂苅 量太（防衛医科大学校 内科学（消化器））
南條 宗八（南條内科おなかクリニック）

O21-1 潰瘍性大腸炎初発時の5-ASA治療の成績と不耐例の解析
小田切信介（札幌東徳洲会病院）

O21-2 潰瘍性大腸炎における5-ASA不耐例の治療経過の検討
横田 佳大（滋賀医科大学 消化器内科）

O21-3 潰瘍性大腸炎における5-アミノサリチル酸製剤不耐症の分類と検討
辻井 悠里（大阪大学医学系研究科）

O21-4 当院の炎症性腸疾患患者における5 - アミノサリチル酸製剤不耐の現状
三浦 雅（金沢赤十字病院）

O21-5 当院における5-ASA不耐患者の治療の現状
間宮 孝（筑波メディカルセンター病院）

9：30～9：55 一般演題22（口演）

座 長：横山 薫（北里大学医学部 消化器内科学）
伊藤亜由美（東京女子医科大学 消化器内科）

O22-1 潰瘍性大腸炎における5-ASA不耐およびDLSTの予後との関連性
武部 友寛（浜松医科大学 内科学第一講座）

O22-2 当院の潰瘍性大腸炎患者におけるNUDT15遺伝子多型による治療内容の変化に関する検討
田中 信（京都第一赤十字病院）

O22-3 免疫調整薬チオプリン製剤使用についての検討
今井 雄史（山梨県立中央病院）

O22-4 当院潰瘍性大腸炎患者におけるNUDT15測定の有無によるAZA治療への影響に関する検討
廣橋 昌人（京都第一赤十字病院）

O22-5 代謝産物・代謝酵素活性測定によるチオプリン製剤投与テーラーメイドの試み
梅田 智子（北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター）

10：00～10：20 一般演題23 (口演)

座 長：山本 修司（京都大学医学部附属病院 消化器内科）
長島 一哲（NTT東日本札幌病院 消化器内科）

O23-1 潰瘍性大腸炎におけるチオプリン製剤による adverse event の臨床像
菅谷 武史（獨協医科大学病院 内科学（消化器））

O23-2 潰瘍性大腸炎患者に対するブデソニド注腸フォーム剤の安全性、有効性の検討 特定
使用成績調査の最終結果報告
猿田 雅之（東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科）

O23-3 潰瘍性大腸炎に対するブデソニド経口製剤の有効性の検討
島谷 孝司（青森県立中央病院 消化器内科 / 弘前大学大学院医学研究科 消化器血液
免疫内科学講座）

O23-4 重症潰瘍性大腸炎に対するステロイド大量静注療法の早期治療効果判定にコリンエステ
ラーゼは有用か
土屋 智章（信州大学附属病院）

10：40～11：05 一般演題24 (口演)

座 長：鎌田 紀子（医療法人弘仁会 てんのうじ消化器・IBDクリニック 内科）
福田 知広（一般財団法人 神奈川県警友会 けいゆう病院 消化器内科）

O24-1 炎症性腸疾患合併鉄欠乏性貧血に対するカルボキシマルトース第二鉄注射単回投与の
有用性と安全性の検討
塩屋 暁子（明石医療センター）

O24-2 禁煙後発症の潰瘍性大腸炎の病態に関する研究
瀧上 綾子（日本医科大学武蔵小杉病院 / 日本鋼管病院）

O24-3 組織学的所見に基づいた臨床的寛解潰瘍性大腸炎患者における過敏性腸症候群様症状
に関する検討
川島 耕作（島根大学医学部附属病院 IBD センター / 島根大学医学部 内科学第二）

O24-4 潰瘍性大腸炎に対する青黛治療中止後の予後に関する検討
吉松 裕介（慶應義塾大学医学部 内科学（消化器））

O24-5 難治直腸炎型潰瘍性大腸炎に対する advanced therapy の有効性の検討
池田 礼（横浜市立大学附属病院 消化器内科）

11：10～11：35 一般演題25 (口演)

座 長：三上 洋平（慶應義塾大学医学部 内科学（消化器））
久野 徹（山梨大学医学部 消化器内科）

- O25-1 クロウン病患者における小腸カプセル内視鏡を用いた消化管開通性評価と長期モニタリング
中村 正直 (名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部)
- O25-2 臨床的寛解状態のクロウン病患者に対する生物学的製剤の治療強化についての臨床的検討
西俣 伸亮 (医療法人潤愛会 鯨島病院)
- O25-3 クロウン病の小腸病変における Diminutive lesion の分布・配列とカプセル内視鏡スコアの関係
濱田 隆仁 (札幌 IBD クリニック)
- O25-4 Crohn 病に起因する短腸症候群および腸管機能不全に対する Teduglutide の効果の検討
西口 貴則 (東京山手メディカルセンター 炎症性腸疾患内科)
- O25-5 腸管エコーで評価したクロウン病の全層性炎症とロイシンリッチ $\alpha 2$ グリコプロテインの相関
小松 萌子 (北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター / 北里大学北里研究所病院 消化器内科)

11:40~12:00 一般演題26 (口演)

- 座 長: 虻川 大樹 (宮城県立こども病院 総合診療科・消化器科)
清水 泰岳 (国立成育医療研究センター 消化器科/小児IBDセンター)
- O26-1 当施設における超早期発症型炎症性腸疾患の特徴の検討
佐藤 真教 (東京都立小児総合医療センター / 順天堂大学 小児科)
- O26-2 小児 Crohn 病におけるチオプリンと部分栄養併用療法の臨床寛解維持率と粘膜寛解率の検討
梶 恵美里 (大阪医科薬科大学)
- O26-3 当院における15歳以下の小腸IBD症例に対するカプセル内視鏡検査の有用性の検討
南 信弘 (熊本赤十字病院 消化器内科)
- O26-4 当院で診断した小児期発症クロウン病患者の臨床的特徴とマネジメントに関する検討
小島健太郎 (岐阜大学医学部附属病院)

15:00~15:24 一般演題27 (口演)

- 座 長: 中村 正直 (名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部)
米澤麻利亜 (東京女子医科大学 消化器内科)
- O27-1 infliximab 長期寛解維持投与中に薬剤性ループス様症状を認めたクロウン病の1例
田中 友隆 (土谷総合病院)

- O27-2 インフリキシマブ投与中に高安動脈炎を発症した幽門狭窄を伴うクローン病の1例
渡邊早百合（福島県立医科大学会津医療センター 消化器内科・小腸大腸内科）
- O27-3 クローン病の経過中に慢性再発性多発性骨髄炎を発症した15歳の男児
江波戸孝輔（北里大学 医学部 小児科学）
- O27-4 Risankizumabが有効であったCrohn病様のRituximab関連腸炎の1例
須藤 翔（弘前大学大学院医学研究科 消化器血液免疫内科学講座）
- O27-5 リサンキズマブを投与した、クローン病5症例の治療成績
加賀谷尚史（国立病院機構 金沢医療センター）
- O27-6 発症から21年後にパーキンソン病を併発した大腸型クローン病の1例
佐々木 悠（山形大学医学部 内科学第二（消化器内科学）講座）

15：30～15：54 一般演題28（口演）

座 長：中村 美咲（三重大大学医学部附属病院 光学医療診療部）
田村 智（浜松医科大学 第一内科）

- O28-1 潰瘍性大腸炎（UC）に合併した上部消化管病変に対してUpadacitinibの有効性が示唆された1例
山崎 博（医療法人南溟会 はくあいクリニック / 久留米大学 医療センター）
- O28-2 当院における潰瘍性大腸炎に対するウパダシチニブによる寛解導入、寛解維持療法の有効性についての検討
種本 俊（済生会宇都宮病院 消化器内科）
- O28-3 upadacitinibが著効した高齢発症の難治性潰瘍性大腸炎の1例
小森友花子（北里大学医学部 消化器内科学）
- O28-4 ウパダシチニブで緊急手術を回避できた超高齢発症重症潰瘍性大腸炎の1例
平澤 智明（さいたま市立病院）
- O28-5 ウパダシチニブ投与後ステロイド離脱が可能となった自己免疫性膵炎合併難治性潰瘍性大腸炎の1例
松浦 賢史（高松赤十字病院）
- O28-6 タクロリムスで制御不十分であった急性重症潰瘍性大腸炎(ASUC)に対しウパダシチニブが奏功した2例
米澤 瑞華（加古川中央市民病院）

16：00～16：24 一般演題29（口演）

座 長：今枝 博之（埼玉医科大学 消化管内科）
西田 淳史（滋賀医科大学 消化器内科）

O29-1 潰瘍性大腸炎に関連した胃十二指腸病変に対してベドリズマブが奏功した2例
樋口 健佑（昭和大学医学部 内科学講座消化器内科学部門）

O29-2 ベドリズマブ投与中に高安動脈炎を発症し、ゴリムマブ再開により血管炎が寛解した潰瘍性大腸炎の一例
高木 由理（藤沢湘南台病院 消化器内科）

O29-3 フィルゴチニブ投与中に腎膿瘍を発症した高齢発症の潰瘍性大腸炎の1例
飯島 良彦（聖マリアンナ医科大学）

O29-4 JAK 阻害薬間のスイッチにより寛解が得られた潰瘍性大腸炎の2例
西野美智子（黒部市民病院）

O29-5 JAK 阻害薬から生物学的製剤へのアクティブスイッチが有効であった潰瘍性大腸炎の2例
大竹はるか（自治医科大学附属さいたま医療センター）

O29-6 各種の治療薬で寛解導入できずJAK 阻害薬が著効した粘膜内好酸球浸潤が著明な潰瘍性大腸炎(UC) 1例
大野 隆（平和会吉田病院）

プログラム 11月16日(土)

【第1会場】(ボールルーム・ノース (B1F))

8:00~8:40 モーニングセミナー 4:5-ASA 治療の最適化と治療戦略を考える

司 会：長沼 誠 (関西医科大学 内科学第三講座)

演 者：三上 洋平 (慶應義塾大学医学部 消化器内科)

加藤 順 (千葉大学医学部附属病院 内視鏡センター)

共催：杏林製薬株式会社

8:50~10:20 シンポジウム 3: 最新の臨床試験 (国際共同試験・post hoc解析を含む)・基礎研究・トランスレーショナル研究

司 会：仲瀬 裕志 (札幌医科大学医学部 消化器内科学講座)

小林 拓 (北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター)

筋野 智久 (慶應義塾大学医学部 内視鏡センター)

SY3-1 活動性潰瘍性大腸炎に対する生物学的製剤の有用性を評価するための多施設共同無作為比較臨床試験

長沼 誠 (関西医科大学 内科学第三講座)

SY3-2 潰瘍性大腸炎を対象としたトファシチニブ特定使用成績調査 (全例調査) における年齢層別事後解析結果

松岡 克善 (東邦大学医療センター佐倉病院)

SY3-3 免疫調節薬、先端治療未投与潰瘍性大腸炎患者に対する Ozanimod の効果：国内第2/3相試験サブ解析

久松 理一 (杏林大学医学部消化器内科学)

SY3-4 難治性潰瘍性大腸炎患者の抑うつ神経症状評価に有用な血清学的指標探求の試み

守屋 圭 (奈良県総合医療センター)

SY3-5 寛解期潰瘍性大腸炎患者の再燃予測における尿中プロスタグランジン主要代謝産物 (PGE-MUM) の有用性

櫻井 俊之 (東京慈恵会医科大学)

SY3-6 潰瘍性大腸炎の大腸全摘後回腸囊炎における抗インテグリン $\alpha v \beta 6$ 抗体の有用性

中西 梨紗 (京都大学大学院医学研究科 消化器内科)

SY3-7 潰瘍性大腸炎患者における抗TNF α 製剤継続率に関わる網羅的HLA解析
大坂 龍也 (東北大学病院消化器内科)

SY3-8 自己組織化ペプチド溶液を用いた潰瘍性大腸炎の新規治療法の開発：特定臨床研究の開始
橋本 悠 (群馬大学大学院医学系研究科 消化器・肝臓内科学)

SY3-9 クローン病における新規線維化機序の解明と抗線維化療法の開発
前田 啓子 (名古屋大学医学部附属病院)

SY3-10 キラルアミノ酸を用いた炎症性腸疾患に対する新規治療法の開発
梅田 智子 (慶應義塾大学医学部 内科学 (消化器))

10：30～11：15 スポンサーセッション1

司 会：岡林 剛史 (慶應義塾大学医学部 一般・消化器外科)

クローン病の肛門病変に対する再生医療を含めた最新マネジメント
高野 正太 (大腸肛門病センター高野病院)

共催：武田薬品工業株式会社

11：20～12：10 JSIBD研究助成成果報告

司 会：穂苅 量太 (防衛医科大学校 内科学(消化器))
岡本 隆一 (東京科学大学大学院 消化器病態学)

RE1-1 潰瘍性大腸炎患者の回腸嚢内視鏡表現型に関する多施設共同研究
秋山慎太郎 (筑波大学医学医療系 消化器内科)

RE1-2 クローン病患者における生物学的製剤による部位別治療効果の解析
河本 亜美 (東京科学大学病院 光学医療診療部)

RE1-3 中枢神経のエネルギー代謝異常が腸管炎症と精神状態の脳腸相関に果たす役割の検討
良原 丈夫 (大阪大学大学院医学系研究科 内科系臨床医学専攻 消化器内科学)

RE1-4 炎症性腸疾患の線維性狭窄を標的とした新規治療開発のための基盤構築
渡邊 大輔 (神戸大学医学部 消化器内科)

12：20～13：10 ランチョンセミナー4：UCにおけるAdvanced therapyの第一選択薬を考える

司 会：長沼 誠（関西医科大学 内科学第三講座）

スキリージとリンヴォックのエビデンスを整理する

松岡 克善（東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科）

スキリージとリンヴォックをどのように使いこなすか

杉本 健（浜松医科大学 内科学第一講座）

共催：アッヴィ合同会社

13：20～14：50 パネルディスカッション2：IBDに伴う腸管外合併症の診断とマネジメント

司 会：松浦 稔（杏林大学医学部 消化器内科学）

猿田 雅之（東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科）

梅野 淳嗣（九州大学大学院 病態機能内科学）

PD2-1 当院における炎症性腸疾患患者の腸管外合併症と関連因子の検討

依藤 駿輔（川崎医科大学附属病院）

PD2-2 新規IBD患者における腸管外合併症の発症時期と臨床経過に与える影響

藤麻 武志（杏林大学医学部 消化器内科学）

PD2-3 潰瘍性大腸炎の難治化と代謝疾患の関連に関する研究

測上 綾子（日本医科大学武蔵小杉病院 / 日本鋼管病院）

PD2-4 炎症性腸疾患に合併する脊椎関節炎の当院における診療の実際

清原 裕貴（慶應義塾大学医学部 内科学（消化器） / 宮内庁皇嗣職）

PD2-5 抗TNF α 抗体製剤に関連する皮膚症状についての検討

松野 雄一（九州大学大学院 病態機能内科学）

PD2-6 肝胆膵領域疾患を合併した潰瘍性大腸炎に対する後方視的検討

荻野 治栄（九州大学大学院医学研究院 病態制御内科学 / 九州大学大学院医学研究院
消化器代謝学講座）

PD2-7 MRCPで胆管狭窄を認める炎症性腸疾患患者の臨床的特徴：Far EAST 1000

堀尾 亮輔（千葉大学医学部附属病院 消化器内科）

PD2-8 潰瘍性大腸炎を伴う原発性硬化性胆管炎における血球成分除去療法の有効性と安全性

伊藤亜由美（東京女子医科大学）

15：00～15：40 アフタヌーンセミナー 4

司 会：小林 拓（北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター／北里大学医学部 消化器内科学）

潰瘍性大腸炎治療の進化～JAK 阻害剤の位置づけとバイオマーカーの臨床応用～

猿田 雅之（東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科）

共催：ファイザー株式会社

15：50～17：20 シンポジウム 4：既存治療を再考する～5-アミノサリチル酸製剤／ステロイド／チオプリン製剤／血球成分除去療法～

司 会：松岡 克善（東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科）
櫻庭 裕丈（弘前大学大学院医学研究科 消化器血液免疫内科学講座）
芦塚 伸也（福岡大学医学部 消化器内科）

SY4-1 5-アミノサリチル酸製剤による至適な潰瘍性大腸炎寛解維持療法に向けた患者と医師への意識調査

天野 孝広（市立池田病院 消化器内科）

SY4-2 ステロイド使用歴で層別化した内視鏡 Mayo スコア 1 の潰瘍性大腸炎患者に対する 5-ASA 製剤増量の効果

福田 知広（慶應義塾大学医学部 内科学（消化器）／一般財団法人 神奈川県警友会 けいゆう病院 消化器内科）

SY4-3 Advanced therapy 時代の副腎皮質ステロイド治療を受けた潰瘍性大腸炎患者の長期臨床経過

宮村 美幸（東邦大学医療センター佐倉病院）

SY4-4 Advanced Therapy 開始までのコルチコステロイド総投与量と一次無効の関係

横尾 貴史（社会医療法人健生会 土庫病院）

SY4-5 潰瘍性大腸炎におけるステロイド依存例／抵抗例の予測因子の検討

秋田浩太郎（札幌医科大学 消化器内科学講座）

SY4-6 潰瘍性大腸炎におけるステロイド強力静注療法の最適化：有効性の判断時期と中長期予後

荻原 良太（杏林大学医学部 消化器内科学）

SY4-7 炎症性腸疾患患者における白血球 DNA-thioguanine nucleotide 濃度の検討

山本 修司（京都大学医学部附属病院）

SY4-8 潰瘍性大腸炎における非有効症例から考える最適なチオプリン製剤の使用について

蓮井 桂介（弘前大学大学院医学研究科 消化器血液免疫内科学講座／弘前大学大学院医学研究科 地域医療支援学講座）

SY4-9 実臨床における顆粒球除去療法による維持療法の治療成績：前向き臨床試験

下山 貴寛（四日市羽津医療センター IBD センター）

17：25～17：40 表彰式・閉会の辞

司 会：仲瀬 裕志（札幌医科大学医学部 消化器内科学講座）

・表彰式

・閉会の辞

次回会長：仲瀬 裕志（札幌医科大学医学部 消化器内科学講座）

【第2会場】（ボールルーム・サウス（B1F））

8:00~8:40 モーニングセミナー 5

司 会：久松 理一（杏林大学医学部 消化器内科学）

炎症性腸疾患における鉄欠乏性貧血の診断と治療

角田 洋一（東北大学大学院医学系研究科 消化器病態学分野）

共催：ゼリア新薬工業株式会社

8:50~10:20 パネルディスカッション1：小児から成人における炎症性腸疾患の遺伝子診断とマネジメント

司 会：工藤 孝広（順天堂大学 小児科）

石毛 崇（群馬大学医学部附属病院 小児科）

堀之内智子（神戸大学大学院医学研究科 内科系講座 小児科）

PD1-1 炎症性腸疾患における遺伝子解析の現状と流れ

竹内 一郎（国立成育医療研究センター消化器科・小児炎症性腸疾患センター）

PD1-2 口唇肉芽腫症を合併した小児期発症クローン病における *NCF1* 遺伝子変異

南部 隆亮（埼玉県立小児医療センター 消化器・肝臓科）

PD1-3 チオプリン製剤関連遺伝子総論

角田 洋一（東北大学大学院医学系研究科 消化器病態学分野）

PD1-4 MEFV 遺伝子関連腸炎の現状

戸板 成昭（札幌厚生病院 小児科）

PD1-5 全エクソーム解析・全ゲノム解析による monogenic IBD 遺伝子解析研究

徳島香央里（順天堂大学 小児科）

PD1-6 超早期発症型炎症性腸疾患におけるカプセル内視鏡の運用方法と安全性の検討：多機関共同研究

萩原真一郎（大阪母子医療センター 消化器・内分泌科）

PD1-7 IBDに関するPRS (polygenic risk scores) の現状

内藤 健夫（東北大学大学院 医学系研究科 消化器病態学分野）

PD1-8 IL10RA 欠損症に求められる早期マネジメント

友政 弾（東京医科歯科大学発生発達病態学分野）

PD1-9 Monogenic IBD に対する同種造血細胞移植

宮本 智史（東京科学大学医学部 発生発達病態学（小児科））

10：30～11：15 スポンサーセッション2

司 会：筋野 智久（慶應義塾大学医学部 内視鏡センター）

臨床研究のための統計学の基本知識

新谷 歩（大阪公立大学大学院医学研究科 医療統計学教室）

共催：ミヤリサン製薬株式会社

11：20～11：40 JSIBD 派遣医師参加報告

司 会：長沼 誠（関西医科大学 内科学第三講座）

RE2-1 Serum Leucine-rich Alpha-2 Glycoprotein Can be a Biomarker for Selecting Anti-cytokine Biologics in Patients with Inflammatory Bowel Disease: A Multicentre Prospective Cohort Study

天野 孝広（市立池田病院 消化器内科 / 大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学）

RE2-2 RDI (Red Dichromatic Imaging) を用いた潰瘍性大腸炎の再燃リスクの評価

橋本 悠（群馬大学大学院医学系研究科 消化器・肝臓内科）

RE2-3 Accelerated degradation of gut barrier-protecting 3-aminobenzoic acid exacerbate colitis in Inflammatory Bowel Disease

田中 美帆（東京慈恵会医科大学 消化器・肝臓内科）

12：20～13：10 ランチョンセミナー5：“Rethink from statistics and experience”

司 会：岡本 隆一（東京科学大学大学院 消化器病態学）

未来を見据えたベストユースを考える ～医師と患者のexperience～

小林 拓（北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター）

リアルワールドエビデンスから見る生物学的製剤の未来 ～統計的視点からの再考～

佐藤 泰憲（慶應義塾大学医学部 生物統計学）

共催：ヤンセンファーマ株式会社

13：20～14：50 ワークショップ3：MSセッション：みんなで診るIBD

司 会：横山 薫（北里大学医学部 消化器内科学）

高津 典孝（福岡大学筑紫病院 炎症性腸疾患センター）

水野 光（関西医科大学大学院看護学研究科 治療看護分野）

コメンテーター：内野 基（兵庫医科大学 消化器外科学講座 炎症性腸疾患外科）

八木澤啓司（札幌東徳洲会病院 薬剤部）

特別発言：日比 紀文（北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター）

WS3-1 IBD診療に関わる診療看護師（NP）の活動と役割の考察

越智 優馬（社会医療法人宏潤会大同病院）

WS3-2 多職種連携による腸管エコーの導入と活用：炎症性腸疾患専門施設の取り組みと成果

小田島一弘（北里大学北里研究所病院 臨床検査科）

WS3-3 炎症性腸疾患患者を対象とした便失禁症状および便失禁特異的QOLの実態調査

南里 穂（佐賀大学医学部附属病院 看護部）

WS3-4 炎症性腸疾患外来の受診中断症例の解析

酒井 友紀（京都第二赤十字病院 看護部）

WS3-5 IBD患者へ充実した栄養管理を提供するための管理栄養士の取り組み

深山 侑祐（長崎大学病院 栄養管理室）

WS3-6 生物学的製剤院内投与患者の外来滞在時間短縮の取り組み

内田 苗利（茅ヶ崎市立病院）

WS3-7 IBDセンター薬剤師外来における生物学的製剤の薬剤指導

中村 健志（島根大学医学部附属病院 薬剤部）

WS3-8 IBDにおけるバイオシミラーへの切り替えに対する薬剤師介入効果について

佐藤 可奈（公益財団法人 大原記念倉敷医療機構 倉敷中央病院 薬剤部）

WS3-9 炎症性腸疾患の薬物療法における薬剤師の知識の均てん化に向けた取り組み

中野 敬太（札幌医科大学附属病院薬剤部）

WS3-10 炎症性腸疾患患者に対する服薬指導の実態調査

岩山 訓典（北海道科学大学）

15：00～15：40 アフタヌーンセミナー5

司 会：加藤 順（千葉大学医学部附属病院 内視鏡センター）

専門医が考えるべきフィルゴチニブのUCにおけるbest use

秋山慎太郎（筑波大学医学医療系 消化器内科 / 筑波大学附属病院 IBDセンター）

共催：ギリアド・サイエンス株式会社 / E A ファーマ株式会社

15:50~17:20 プレナリーセッション

司 会：新崎信一郎（兵庫医科大学医学部 消化器内科学）

吉松 裕介（慶應義塾大学医学部 内科学（消化器））

PS-1 小児IBD患者が感じる周囲からのサポートの現状と課題

南部 隆亮（埼玉県立小児医療センター 消化器・肝臓科）

PS-2 小児クローン病に対する生物学的製剤の継続使用率とその予測因子

服部 透也（埼玉県立小児医療センター 消化器・肝臓科）

PS-3 クローン病の小腸病変における生物学的製剤投与による内視鏡的狭窄の変化と分子学的特徴

中田理恵子（大阪公立大学大学院医学研究科）

PS-4 クローン病における transmural healing 達成が長期予後に及ぼす影響について

橋本 真一（山口大学医学部附属病院 IBD センター）

PS-5 療養就労両立支援を必要とする患者の職場への疾患告知に関する実情

道土井優希（国家公務員共済組合連合会 呉共済病院）

PS-6 潰瘍性大腸炎患者の治療薬選択における SDM に Bio/JAK 使用歴が与える影響

北畑 翔吾（愛媛県立中央病院 消化器内科）

PS-7 por/sig/muc 成分に着目した潰瘍性大腸炎関連腫瘍の臨床病理学的検討

榊原 亮哉（慶應義塾大学医学部内科学（消化器））

PS-8 Monogenic IBD 診断におけるリンパ球サブセットの有用性

森田 篤志（筑波大学附属病院 小児科）

PS-9 炎症抑制性腸管上皮間 T 細胞の分化誘導機序の検討

大野 恵子（慶應義塾大学予防医療センター）

【第3会場】(アイリス (B1F))

8:00~8:40 モーニングセミナー 6

司 会：安藤 朗（滋賀医科大学）

IBDと腸内細菌のこと。どこまで影響しているのか？

深田 雅之（東京山手メディカルセンター 炎症性腸疾患内科）

共催：東亜新薬株式会社／東亜薬品工業株式会社

8:50~9:15 一般演題10（口演）

座 長：東 大二郎（福岡大学筑紫病院 外科）

渡辺 和宏（東北大学大学院 消化器外科学）

O10-1 潰瘍性大腸炎手術例における High output stoma の腎機能の経時的変化の検討

二本 了（東京女子医科大学 消化器・一般外科）

O10-2 クロウン病に合併する痔瘻における臨床経過および治療の検討

船越 薫子（東京大学 腫瘍外科）

O10-3 Biologics eraにおけるクロウン病痔瘻管理の現状と課題

渡谷 祐介（広島大学大学院医系科学研究科 外科学）

O10-4 潰瘍性大腸炎2/3期手術における腹腔鏡手術症例の検討

桑原 隆一（兵庫医科大学 消化器外科学講座 炎症性腸疾患外科）

O10-5 高齢発症潰瘍性大腸炎に対する手術治療

高柳 雅（獨協医科大学 下部消化管外科）

9:20~9:40 一般演題11（口演）

座 長：板橋 道朗（埼玉県済生会加須病院）

中村 健太（産業医科大学病院 消化管内科・胆管膵内科（第3内科））

O11-1 当院でクロウン病に対して腹腔鏡手術を行った症例の検討

皆川 知洋（富山大学 消化器・腫瘍・総合外科／富山大学附属病院 IBD センター）

O11-2 早期診断を目指したクロウン病併発直腸肛門管癌の内視鏡サーベイランス法の検討

春山 芹奈（横浜市立大学附属市民総合医療センター）

O11-3 当院におけるクロウン病関連癌の臨床的特徴

小林由美恵（大阪公立大学大学院医学研究科 消化器内科学）

O11-4 当院における潰瘍性大腸炎関連癌サーベイランスの実際

矢野 翔太（東北大学病院 消化器内科）

9：45～10：10 一般演題12（口演）

座 長：竹中 健人（東京科学大学 消化器内科）
杉本 真也（慶應義塾大学医学部 内科学（消化器））

O12-1 同時・異時性に鋸歯状病変を認め、大腸全摘術を要した潰瘍性大腸炎関連大腸腫瘍の2例

中尾 憲史（国立病院機構大阪医療センター）

O12-2 診断から1年でlow-grade dysplasiaを合併した直腸炎型潰瘍性大腸炎の1例

鯨島 洋一（鹿児島厚生連病院 消化器内科）

O12-3 潰瘍性大腸炎診断後の悪性腫瘍発症例の検討

田淵 光太（兵庫県立はりま姫路総合医療センター 消化器内科）

O12-4 IBD患者に発生した大腸癌の臨床的検討

臺 一樹（旭川医科大学 内科学講座 消化器内科学分野）

O12-5 炎症性腸疾患に合併する腸管外悪性腫瘍の現状と予後の検討

林 龍之介（旭川医科大学 内科学講座 消化器内科学分野）

11：20～11：40 一般演題13（口演）

座 長：橋本 真一（山口大学医学部附属病院 光学医療診療部）
吉岡 京子（呉共済病院 消化器内科）

O13-1 潰瘍性大腸炎に対する抗TNF α 製剤からの薬剤変更におけるウステキヌマブとベドリズマブの比較検討

茂木 智拓（JCHO 東京山手メディカルセンター）

O13-2 難治性潰瘍性大腸炎に対するトファシチニブとウパダシチニブの有効性および安全性の比較検討

田村 皓子（東京医科歯科大学）

O13-3 潰瘍性大腸炎難治例における生物学的製剤＋血球成分除去療法併用療法の治療効果

飯塚 政弘（秋田赤十字病院附属あきた健康管理センター / 秋田赤十字病院 消化器内科）

O13-4 JAK阻害剤の中等症～重症の潰瘍性大腸炎に対する治療効果予測マーカーの検討

松本 悠（埼玉医科大学病院 総合診療内科）

11：45～12：15 一般演題14 (口演)

座 長：都築 義和 (埼玉医科大学 消化管内科)
江崎 幹宏 (佐賀大学医学部 内科学講座 消化器内科)

O14-1 潰瘍性大腸炎患者における内視鏡重症度別にみた血小板CD62Pの活性化動態
佐野 泰樹 (関西医科大学)

O14-2 NLRP3の機能喪失はTh2サイトカインを介してDSS腸炎を悪化させる
菓 裕貴 (札幌医科大学医学部 消化器内科学講座)

O14-3 食道・小腸・大腸の各臓器間比較による線維芽細胞の遺伝子的特徴の探索
海江田祐太 (慶應義塾大学医学部)

O14-4 IL17シグナルの阻害は腸管粘膜での炎症性変化を誘導する
下平 陽介 (秋田大学大学院医学系研究科 消化器内科学神経内科学講座)

O14-5 クローン病の新規腸管線維化モデルの作成と病態解明の可能性
水島 一郎 (慶應義塾大学医学部 消化器内科)

O14-6 炎症性腸疾患における2型自然リンパ球の役割についての検討
入江 江美 (慶應義塾大学医学部 内科学 (消化器) / 慶應義塾大学予防医療センター)

12：20～13：10 ランチョンセミナー 6

司 会：池内 浩基 (兵庫医科大学 消化器外科学講座 炎症性腸疾患外科)

炎症性発癌を斬る～サーベイランスから治療まで～

辰巳 健志 (横浜市立市民病院 炎症性腸疾患科)

共催：日本化薬株式会社／セルトリオン・ヘルスケア・ジャパン株式会社

13：20～13：45 一般演題15 (口演)

座 長：山本章二郎 (宮崎大学医学部附属病院 消化器内科)
香川美和子 (公立学校共済組合 四国中央病院 内科)

O15-1 中等症から重症のクローン病患者に対するグセルクマブの有効性と安全性: GALAXI 2&3寛解維持試験
久松 理一 (杏林大学医学部 消化器内科学)

O15-2 生物学的製剤治療歴別のクローン病患者に対するグセルクマブとウステクヌマブの有効性: GALAXI試験
松岡 克善 (東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科)

O15-3 中等症から重症のクローン病患者に対するグセルクマブ皮下導入療法の有効性と安全性: GRAVITI試験
久松 理一 (杏林大学医学部 消化器内科学)

O15-4 クロウン病の肛門病変がウステキヌマブの治療効果に与える影響

才木 琢登 (九州大学大学院 病態機能内科学)

O15-5 クロウン病合併痔瘻に対する生物学的製剤、分子標的薬、再生医療の当院における成績

高野 正太 (大腸肛門病センター高野病院)

13 : 50～14 : 15 一般演題16 (口演)

座 長：竹内 健 (辻中病院 柏の葉 消化器内科・IBD センター)

佐上晋太郎 (北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター)

O16-1 クロウン病患者 (日本人含む) でのミリキズマブの有効性・安全性：VIVID-1 試験の主要結果

久松 理一 (杏林大学医学部 消化器内科学)

O16-2 日本人を含むクロウン病患者の疲労，便意切迫感，QOLへのミリキズマブの効果：VIVID-1 試験結果

久松 理一 (杏林大学医学部 消化器内科学)

O16-3 難治性クロウン病に対するリサンキズマブの有効性の検討

漆山 みき (東北大学病院)

O16-4 クロウン病に対するベドリズマブの有効性について

酒匂美奈子 (JCHO 東京山手メディカルセンター 炎症性腸疾患内科)

O16-5 クロウン病に対するリアルワールドにおけるベドリズマブの有効性の予測因子の検討

上小鶴孝二 (兵庫医科大学病院)

14 : 20～14 : 45 一般演題17 (口演)

座 長：柿本 一城 (大阪医科薬科大学病院 消化器内科)

諸井林太郎 (東北大学病院 消化器内科)

O17-1 クロウン病におけるリサンキズマブ投与症例の検討～1年以上の経過を含めて～

林 智之 (金沢大学附属病院)

O17-2 中等症から重症のクロウン病患者における最長3年間の投与によるリサンキズマブの長期有効性及び安全性

久松 理一 (杏林大学医学部 消化器内科学)

O17-3 中等症から重症の活動性クロウン病患者の腸管外合併症におけるウパダシチニブの有効性

角田 洋一 (東北大学 消化器内科)

O17-4 中等症から重症の活動性クローン病患者におけるウパダシチニブの長期有効性と安全性：長期継続投与期

仲瀬 裕志（札幌医科大学医学部 消化器内科学講座）

O17-5 クローン病症例の血中Infliximabトラフ濃度推移に影響する因子の後ろ向き検討

半田 修（川崎医科大学 消化器内科）

15：00～15：40 アフタヌーンセミナー 6

司 会：平井 郁仁（福岡大学医学部 消化器内科学講座）

Multi-option時代のUC治療におけるTNF α 阻害薬の役割

櫻庭 裕丈（弘前大学大学院医学研究科 消化器血液免疫内科学講座）

共催：ヤンセンファーマ株式会社／田辺三菱製薬株式会社

15：50～16：14 一般演題18（口演）

座 長：杉村美華子（国立病院機構 仙台医療センター 消化器内科）

畑 啓介（日本橋室町三井タワー ミッドタウンクリニック）

O18-1 炎症性腸疾患患者へのSexual well-being支援：看護師の実践内容に関する質的研究

若井さやか（東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科）

O18-2 炎症性腸疾患患者のSexual well-beingに関する悩み・不安：看護師へのインタビュー調査

田中 真琴（東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科）

O18-3 炎症性腸疾患患者による電話相談時の状況および対応指示に関する1施設調査-体調悪化の相談に着目して-

川上 明希（東京医科歯科大学）

O18-4 演題取り下げ

O18-5 IBD治療における生物学的製剤の処方動向と薬剤師の役割

小川 浩生（島根大学医学部附属病院）

O18-6 潰瘍性大腸炎患者の声：医療従事者に伝えきれない悩みとその実態

北村 文乃（株式会社おいしい健康）

16：20～16：44 一般演題19（口演）

座 長：深田 雅之（JCHO東京山手メディカルセンター 炎症性腸疾患センター）

佐々木 悠（山形大学医学部 内科学第二（消化器内科学）講座）

O19-1 地域を支える炎症性腸疾患診療-専門外来をもたない当院での取り組み-

柴田 理美（がん・感染症センター 都立駒込病院）

- O19-2 当院における炎症性腸疾患患者の通院状況の検討
生駒今日子（慈愛会いづろ今村病院）
- O19-3 IBD外来における、患者のライフイベントに対する
支援についての課題を検討する
隅田 昌佳（兵庫県立はりま姫路総合医療センター）
- O19-4 IBDセンター専属看護師(IBD-Ns)による診察前問診の評価と課題
所 典子（辻仲病院柏の葉）
- O19-5 今後の多職種連携にむけ～多職種連携を図り定期通院を可能にした事例を通して～
桂田 和美（市立札幌病院）
- O19-6 病歴25年を迎えたUC患者のペイシェント・ジャーニーを振り返る
植木 明（京都市立病院 栄養科）

16：50～17：14 一般演題20（口演）

座 長：有光 晶子（医療法人錦秀会インフュージョンクリニック 内科）
宮川 麻希（医療法人 札幌IBDクリニック）

- O20-1 IBD患者の口腔衛生状態の実態調査
田箆 佳子（佐賀大学医学部附属病院 看護部）
- O20-2 IBD患者に対する両立支援確立に向けた医療者向け教育システムの有用性検証
上野 伸展（旭川医科大学病院 総合診療部 / 旭川医科大学 消化器疾患病態学講座）
- O20-3 IBD患者におけるSNS利用状況についての検討
小笠原かな子（東北大学病院）
- O20-4 Crohn病で在宅中心静脈栄養を導入している患者の中心ライン関連血流感染実態調査
新井真理子（JCHO 東京山手メディカルセンター（看護部））
- O20-5 炎症性腸疾患患者を対象にした看護師の両立支援の実施状況の調査
長谷川紗希（国立大学法人 旭川医科大学病院）
- O20-6 小児IBD患者に対するピアサポートのニーズと方法の検討
南部 隆亮（埼玉県立小児医療センター 消化器・肝臓科）

【第4会場】(カメラア (B1F))

8:50~9:10 一般演題30 (口演)

座 長：遠藤 克哉 (東北医科薬科大学 消化器内科)
原田 涼香 (済生会御所病院 消化器外科)

O30-1 当院における潰瘍性大腸炎(UC)術後回腸囊炎 (pouchitis) 患者の臨床経過および内視鏡像

越川 頼光 (高の原中央病院)

O30-2 当院における潰瘍性大腸炎関連大腸癌の近年の傾向

米澤麻利亜 (東京女子医科大学 消化器内科)

O30-3 潰瘍性大腸炎新規発症者の治療経過

野明 俊裕 (社会医療法人社団高野会 くるめ病院)

O30-4 潰瘍性大腸炎における血清補体値と疾患活動性の関連性の検討

萩原 諒平 (鳥取大学医学部附属病院)

9:15~9:39 一般演題31 (口演)

座 長：玉置 敬之 (高松赤十字病院 消化器内科)
上村 修司 (鹿児島大学大学院 消化器疾患・生活習慣病学)

O31-1 潰瘍性大腸炎患者の大腸発癌に対する認知、情報へのアクセスと cancer worry scale の検討

下平 陽介 (秋田大学大学院医学系研究科)

O31-2 炎症性腸疾患 (IBD) 専門施設における電話相談内容と看護師の対応

貝津 里乃 (医療法人 錦秀会 インフュージョンクリニック)

O31-3 炎症性腸疾患診療における保険薬局との連携へ向けて

三宅 優奈 (京都第二赤十字病院 薬剤部)

O31-4 新規クローン病患者に対する鼻腔エレントール教育入院の実際

川崎 静香 (医療法人愛知会胃腸科肛門科家田病院 栄養科)

O31-5 IBD 患者の通院負担や診療待ち時間に関する実態調査

佐藤 允洋 (旭川医科大学内科学講座 消化器内科学部門)

O31-6 療養就労両立支援に関する相談窓口の患者認知度と課題

道土井優希 (国家公務員共済組合連合会 呉共済病院)

9：45～10：05 一般演題32（口演）

座 長：平岡佐規子（岡山大学病院 炎症性腸疾患センター）
富永 圭一（獨協医科大学医学部 内科学（消化器）講座）

O32-1 クロウン病でのCRP、便中カルプロテクチン、及びLRGを用いた再燃予測
井口 俊博（岡山大学病院）

O32-2 痔瘻を合併するクロウン病患者の生活の質に関する調査
霍田 菊代（大腸肛門病センター高野病院）

O32-3 Crohn病患者における血清セレン値低下に関連する因子の解析
泉 直登（自治医科大学 内科学講座消化器内科学部門）

O32-4 診断時に縦走潰瘍、敷石像を有するクロウン病に対する経口ブデソニドの寛解導入と
免疫調節薬での維持の成績
中島 光一（松島病院）

11：15～11：45 一般演題33（口演）

座 長：石毛 崇（群馬大学大学院医学系研究科 小児科学）
南部 隆亮（埼玉県立小児医療センター 消化器・肝臓科）

O33-1 小児発症のクロウン病と診断され長期治療経過中にXIAP欠損症と診断された一例
藤本 浩輔（奈良県立医科大学 消化器総合外科）

O33-2 帯状疱疹を合併した小児期発症の炎症性腸疾患の5症例
八木 龍介（群馬大学大学院医学系研究科 小児科学）

O33-3 若年者の中等症UCに対して外来で治療の導入・維持ができた2症例
田中 匡実（公立阿伎留医療センター）

O33-4 潰瘍性大腸炎が疑われたが異なる診断を得た小児期発症炎症性腸疾患の3例
鹿野 直樹（聖マリアンナ医科大学 小児科）

O33-5 NEMO異常症に対する生物学的製剤の使用経験
三浦 義一（大阪大学大学院医学系研究科 小児科学）

O33-6 各種新規薬剤に治療抵抗性のクロウン病に対して寛解導入、維持に成功した一例
鎌田 直樹（横浜市立市民病院 消化器内科）

11：45～12：15 一般演題34（口演）

座 長：古川 聡美（JCHO 東京山手メディカルセンター 大腸肛門病センター）
渡谷 祐介（広島大学大学院医系科学研究科 外科学）

O34-1 待機手術が有効であった腹膜炎を呈するクローン病の2例
谷 公孝（東京女子医科大学 炎症性腸疾患外科）

O34-2 大腸全摘術後に回腸嚢尿道瘻を形成した潰瘍性大腸炎の1例
直江 篤樹（藤田医科大学 小児外科学講座）

O34-3 潰瘍性大腸炎に対する結腸・直腸切除術の経験
浅井 竜一（岐阜大学 消化器外科・小児外科）

O34-4 慢性持続型の直腸炎型潰瘍性大腸炎に発症した直腸扁平上皮癌の治療方針について
西村 東人（高砂西部病院 消化器 IBD 内科）

O34-5 潰瘍性大腸炎に対する腹腔鏡下大腸全摘術、回腸嚢肛門管吻合の手術手技
小島 大望（福岡大学筑紫病院）

O34-6 潰瘍性大腸炎術後36年目に発症した回腸嚢炎の1例
福 昭人（医療法人福慈会 福外科病院）

13：20～13：40 一般演題35（口演）

座 長：加藤 真吾（埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科）
山下 賢（広島大学病院 消化器内科）

O35-1 当院で診断した家族性地中海熱遺伝子関連腸炎の2症例
有賀 啓之（筑波大学附属病院 水戸地域医療教育センター 水戸協同病院 消化器内科）

O35-2 潰瘍性大腸炎治療中に医原性免疫不全関連リンパ増殖性疾患を発症した1例
田中 翔（北海道大学病院 消化器内科）

O35-3 診断に難渋した肛門病変を有する腸管型、神経型併存ベーチェット病の1例
田村 昂（奈良県立医科大学 消化器・総合外科）

O35-4 レボフロキサシン（LVFX）に対するアレルギー反応によって病像が修飾された潰瘍性大腸炎の1例
荒木 翔（市立伊丹病院）

O35-5 当院におけるJAK阻害薬rotation治療の経験
一宮 匡（東京医科大学病院）

13：45～14：05 一般演題36（口演）

座 長：松島加代子（長崎大学病院 医療教育開発センター／消化器内科）
林 亮平（県立広島病院 内視鏡内科）

O36-1 潰瘍性大腸炎増悪に上矢状洞血栓症を合併し転帰不良であった1例
上田 孝（東海大学医学部附属病院）

O36-2 当院の潰瘍性大腸炎患者における、尿中PGE-MUMの有用性についての検討
柳澤 秀之（JA 北海道厚生連 帯広厚生病院）

O36-3 潰瘍性大腸炎治療中に発症した腸管ペーチェット病疑いの一例
池田 礼（横浜市立大学附属病院 消化器内科）

O36-4 アダリムマブ投与中に発症した腹膜炎
田澤 智彦（岸和田徳洲会病院）

O36-5 GCAPが奏功したCMV腸炎合併重症潰瘍性大腸炎の1例
鈴木 英之（塩田記念病院）

14：10～14：34 一般演題37（口演）

座 長：金城 徹（琉球大学病院 光学医療診療部）
佐竹 美和（弘前総合医療センター 消化器・血液内科）

O37-1 当院の新規潰瘍性大腸炎患者における5-アミノサリチル酸不耐症例についての検討
木下 聡（埼玉メディカルセンター）

O37-2 難治性潰瘍性大腸炎に対する抗IL-23抗体製剤（ミリキズマブ）の寛解導入成績による好適症例の検討
中井 康貴（札幌厚生病院 消化器内科（IBD センター））

O37-3 ブテソニド経口製剤の使用経験
森下 慶一（八王子消化器病院）

O37-4 JAK阻害薬のスイッチが奏功した難治性直腸炎型潰瘍性大腸炎の一例
立野 瑞樹（横浜市立市民病院 消化器内科）

O37-5 当院における白血球系細胞除去療法の使用検討
佐々木 優（八王子消化器病院）

O37-6 カンピロバクター腸炎を契機に感染性心内膜炎による心原性脳梗塞を来した潰瘍性大腸炎の1例
半田 康平（近畿大学病院）

15：50～16：14 一般演題38（口演）

座 長：菅谷 武史（獨協医科大学 内科学（消化器））
林 智之（金沢大学附属病院 小児成人炎症性腸疾患センター）

O38-1 小腸の多発潰瘍出血のため多量輸血を要したが、リツキシマブ投与で救命し得た顕微鏡的多発血管炎の1例

大谷 毅一（岐阜大学医学部附属病院）

O38-2 潰瘍性大腸炎におけるミリキズマブの有効性と安全性の検討

浅川 幸子（山梨県立中央病院）

O38-3 好酸球浸潤が優位な潰瘍性大腸炎に対してウステキヌマブによる寛解導入・維持療法に成功した一例

田中 太郎（明石医療センター 消化器内科）

O38-4 当院における潰瘍性大腸炎に対する Mirikizumab の使用経験

山田 茜（北里大学医学部 消化器内科学）

O38-5 当院におけるカロテグラストメチルの臨床的寛解症例

氏家珠々美（富良野協会病院 消化器内科）

O38-6 経口タクロリムス療法が奏功した巨大結腸症を合併した重症潰瘍性大腸炎の2例

川島亜貴世（川崎市立多摩病院）

16：20～16：44 一般演題39（口演）

座 長：吉田 篤史（大船中央病院 消化器・IBDセンター）
西垣瑠里子（名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学）

O39-1 ウパダシチニブで救命し得た Cronkhite-Canada 症候群の一例

田代 崇（愛知医科大学病院 消化管内科）

O39-2 マクロな食道病変を有するクローン病（CD）の検討

青山雄一郎（加古川中央市民病院）

O39-3 オルメサルタン関連胃十二指腸炎の一例

宇賀 俊輔（高知大学医学部 消化器内科学）

O39-4 SAPHO 症候群に合併した潰瘍性大腸炎の1例

吉田 尚弘（石川県立中央病院）

O39-5 硬化性胆管炎を合併した PR3-ANCA 陽性潰瘍性大腸炎の一例

矢野慎太郎（順天堂大学医学部附属浦安病院）

O39-6 双極性感情障害を合併した PR3-ANCA 陽性潰瘍性大腸炎の1例

丹下 和洋（愛媛大学大学院医学系研究科 地域消化器免疫医療学）

16:50~17:14 一般演題40 (口演)

座 長：長堀 正和（東京科学大学病院 ヘルスサイエンス R & D センター）

萩野 治栄（九州大学大学院医学研究院 消化器代謝学講座）

O40-1 潰瘍性大腸炎の治療における免疫調節薬で Stevens-Johnson syndrome を来した一例

永田 順子（東海大学医学部附属八王子病院）

O40-2 エストリオール膣錠が有効であった潰瘍性大腸炎術後吻合部膣瘻の一例

橋本 悠平（奈良県立医科大学 消化器・総合外科学教室）

O40-3 潰瘍性大腸炎に合併した serrated polyposis syndrome (SPS) の一例

阿部 善彦（小山記念病院 消化器内科）

O40-4 青黛含有漢方が原因と考えられる肺動脈高血圧症を発症した潰瘍性大腸炎の1例

岩下 祐子（東京慈恵会医科大学附属柏病院 消化器・肝臓内科）

O40-5 多彩な皮膚病変を合併して、コルヒチンが有用であった難治性潰瘍性大腸炎の一例

厚見 周平（済生会中央病院 消化器内科）

O40-6 5-ASA 製剤と抗菌薬投与で S 状結腸の Paradoxical Healing を来したクローン病の1例

池村 明仁（琉球大学病院 光学診療部）